

小売業

スマートフォンケース印刷

LEF-12

ショッピングモール+UVプリントサービス お客様が3回喜ぶ。



ビッグアップのレジカウンター内に設置されているLEF-12。プリント中はLED光の動きに興味を示すお客様も多い。

中でも人気なのが、独自にデザインしたオリジナルスマートフォンケース。レゲエやサイケデリックアートをモチーフにした若者向きのラインナップだが、これまで何種類販売したかは同店の阪本龍社長(42)ですら覚えていない。なぜなら、「同じものを5個以上作らない」ということだわりがあるからだ。

**早さ、出来映え、耐久性
「お客様が3回喜ぶ」**

「他人と被らない、この店でしか手に入らない、というオリジナリティある商品を提供したいと思っているからです」(阪本社長)。

立体物や凹凸面にもフルカラー

人 口23万人が暮らす都心のベッドタウン、大和市。その中核のショッピングセンターに店舗を構える「Big-Up Collection」(以下、ビッグアップ)の店内には、色とりどり、様々な絵柄のスマートフォンケースが所狭しと並んでいる。

中でも人気なのが、独自にデザインしたオリジナルスマートフォンケース。レゲエやサイケデリックアートをモチーフにした若者向きのラインナップだが、これまで何種類販売したかは同店の阪本龍社長(42)ですら覚えていない。なぜなら、「同じものを5個以上作らない」ということだわりがあるからだ。

もともと、海外から輸入したアクセサリーや革製品などを販売していた同社が、オリジナルグッズを手がけるようになったのは約6年前。このショッピングセンターへの出店を機にシルバーアクセサリーに文字を彫るスピンドル彫刻機を導入したのがきっかけだ。そこから、アルミのスマートフォンケースに飾り罫を彫るなどの加工へと発展。さらに、「写真をプリントして欲しい」、「手帳タイプのケースに加飾出来ないか」という顧客の要望が増えたことで1年前に

ローランドディー・ジー・(株)の厚物UVプリンター「LEF-12」を導入し、前述のオリジナルケースの製作、販売をスタートした。



④LEF-12と阪本龍社長。

company profile

[Big-Up Collection] 株式会社アイリー
〒242-0001
神奈川県大和市下鶴間1-2-1 イオンモール大和 3F

【事業内容】

- ◎シルバーアクセサリー、革製品、スマートフォンケースの輸入販売
- ◎オリジナルシルバーアクセサリー、オリジナルスマートフォンケースの企画、製作、販売



①イオンモール大和3階に出店するビッグアップ。②レジ奥に見えるのはLEF-12。ファッショナブルな店の雰囲気を邪魔しない。

③LEF-12でプリントしたオリジナルスマートフォンケース。インクに柔軟性があるので折れ目のある手帳タイプも綺麗に印刷(④)。グラフィカルなイラストも高精細に表現する(⑤)。



⑥お客様の写真データやロゴマークをLEF-12でプリントしたオーリーワンのスマートフォンケース(@1800円～)。⑦オーリーワンのオイルライター(@1800円～)も人気商品。マットコーティングを施してからUVプリントをおこなう。

プリントできる厚物UVプリンタ一なら、阪本社長が求める「小ロットでオリジナリティある商品」が生み出せる。しかも「LEF-12」は、ポリカーボネイト、ABS等の硬い素材だけでなく、革や合皮といった柔らかい素材も1種類のインクでプリント可能。スマートフォンケースは、硬質樹脂のバックカバータイプと合皮の手帳タイプが人気なため、両方の素材にプリントできる「LEF-12」は最適なマシンと言えるだろう。

LEF-12で仕入れと客層の幅も広がった

現在、ビッグアップでは「LEF-12」を活用して、オリジナルデザインの商品だけでなく、お客様の持ち込みデータをプリントするオーリーワン商品の製作もおこなっている。店頭でお客から写真や

ロゴデータを預かり、「LEF-12」でスマートフォンカバーなどにプリントする。所用時間は40分～1時間程度。「お客様はその早さにまず驚く」と阪本社長。そして出来上がった商品を渡すと、「プリントの出来映えを見て、さらには満足して貰えます。また、数ヶ月して再来店したときに『まだ、きれいなまま使えてる』と褒めて頂くことも。耐久性についてはそれほど期待していかなかったのでしょうね。結果として、お客様に3回喜んで貰える商品になります」(阪本社長)。

現在、そういったオーリーワン商品の注文は毎月60件を超え、そのほとんどがクチコミ客だという。輸入品の販売からスタートした同店だが、こういったプリントやiPhoneの修理など加工関連の売上げは今や40%を占めるほどになつた。

「もともと当店は若者世代中心の客層だったのですが、最近は中高年のお客様が増えています。ペットやお子様、思い出の写真をプリントして肌身離さず持ち歩きたいというニーズは、そういった世代のものだからでしょう。顧客の年代層が広がることは経営の安定に繋がるので、ありがたいですね」(阪本社長)。

革製ブレスレットにもLEF-12を活用したい

今後はスマートフォンケースだけでなく、革製のブレスレットなどのアクセサリー類にも「LEF-12」を活用したいという阪本社長。UVプリンターを使い始めてからは、海外に商材の買い付けに赴いても意識が変わったそうだ。

輸入品をそのまま販売するだけでなく、オリジナリティやオーリーワンという付加価値を加えて成功したビッグアップ。「LEF-12」を活用したUVプリントサービスが客層や経営にも良い影響を与えた例と言えるだろう。